

令和4年6月
国土交通省海事局

連携型省エネ船のモデル船開発の対象船種・大きさについて（案）

1. モデル船について

連携型省エネ船のコンセプトを踏まえ、4～5の船種・大きさについて、おすすめの省エネ機器等の組み合わせ（+省エネ船型）をイラスト化したモデル船の開発を行う。

2. 選定の方向性

省エネ船型を開発する船種・大きさについては、CO₂排出削減ポテンシャルの高さや波及のしやすさ等を考慮し、内航海運からのCO₂排出量削減への貢献が可能な限り大きくなる船種・大きさを選定することとしたい。

3. CO₂排出量削減への貢献について

①波及のしやすさ

連携型省エネ船のモデル船の導入・建造を推進するためには、荷主の理解が重要となる。したがって、大手荷主企業と内航事業者が系列化している鉄鋼（一般貨物船）、セメント（セメント専用船）、石油（タンカー）分野で、499GT、749GTなどのシリーズ化している船種・大きさのモデル船を開発すれば、複数隻に導入・建造される可能性が高い。

②CO₂排出量

現在の船種・大きさ別のCO₂排出量は下表のとおり（1.を踏まえて一部の船種・大きさは省略）。

船種・大きさ	CO ₂ 排出量(t)	隻数	備考
499GT貨物（500GT未満貨物）	1,046,790	699	H21省エネ船型
RORO船等（3000GT以上貨物）	977,047	137	
199GT貨物（200GT未満貨物）	549,911	427	建造が減る方向
5000klタンカー（3000GT以上タンカー）	544,547	126	栈橋事情等
294GTなど貨物（400GT未満貨物）	537,031	395	形態が多様
749GT貨物（1000GT未満貨物）	433,125	263	H28省エネ船型
499GTタンカー（500GT未満タンカー）	302,628	202	H28省エネ船型(ケミ)
5,000GTクラスセメント（3000GT以上セメント）	290,662	61	

749GTタンカー（1000GT未満タンカー）	230,991	136	
749GT液化ガス船、LPG船（1000GT未満特殊タンク）	223,569	131	形態が多様
199GTタンカー（200GT未満タンカー）	178,173	139	建造が減る方向
749GTクラスセメント（1000GT未満セメント）	64,388	39	

4. 対象とする船種・大きさ

今後のヒアリング等により変更もあり得るが、3. を踏まえ以下の船種・大きさを連携型省エネ船のモデル船（省エネ船型つき）の開発候補としたい。

- 499GT 貨物船
- 749GT 貨物船
- 499GT タンカー
- （749GT タンカー）
- 5,000GT クラスセメント船
- 749GT クラスセメント船

また、以下の船種に関しては、船型については個別性が高いため、船型開発はしないものの、イラスト化したモデル船を作成することとしたい。

- RORO 船
- 旅客船（中小型旅客船、長距離フェリー）